

事務事業名		小学校コミュニティスクール推進事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	学校教育課
	政策	02	社会教育・生涯学習の充実	係	学校教育係
	施策	02	地域が支えるコミュニティスクールの推進	内線電話	418・419
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	未計上	
	項	2項	小学校費	実施期間	
	目	1目	小学校管理費	平成29年度 ~	

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	児童	学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。	
現状・課題	信州型コミュニティスクールを全校で推進する。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市教育大綱	
事務事業概要	信州型コミュニティスクール学校運営委員会の開催		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	各校での信州型コミュニティスクール学校運営委員会の開催		3回
	学校支援ボランティア数		400人

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	740,000	360,000
補正・流用等		円	0	0	—	
合計		円	740,000	360,000	300,000	
決算（見込）額 A			円	445,231	360,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	0	0	0
	県支出金		円	0	0	0
	市債		円	0	0	0
	その他特定財源		円	0	0	0
R2は予算額	一般財源		円	445,231	360,000	300,000
正規職員数			人	0.38	0.40	0.28
人件費 B			円	2,444,920	2,576,800	1,803,760
総事業費 A+B			円	2,890,151	2,936,800	2,103,760
市民1人当たりコスト			円	68	69	50

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
学校支援ボランティア数		増加	目標	350	人	340	人	400	人
			成果	358	人	413	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるため。								

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	信州型コミュニティスクール学校運営委員会の開催						

